

## 2024年度 渋川女子高等学校 アメリカ研修 (4日目)

本日は、朝から晴天で、青空が見えました。その中、生徒達は、すっかりと通学に慣れたようで、時間より、早めに到着している生徒達も見られました。

生徒の皆さんのしおりには初回の授業を終えての授業の様子や感想が書かれていました。クラスには、渋女生に加えて他国からの生徒がおり、彼らの出身国も様々で、中国、ブラジル、ボリビアなどの国々からの生徒がおり、「同じぐらいの年齢なのに凄い」「レッスン中優しく話してくれて交流する事が出来た」「他の国の人の発言力が凄い」など、各国の生徒から刺激を受け、また楽しく交流しながら一緒にレッスンを受けている様です。

午後のアクティビティーでは、世界ランキングで常に上位にランクインしているマサチューセッツ工科大学 (MIT) にてキャンパスツアーとなりました。今回は全員一緒のキャンパスツアーとなりました。

今田さんは、日本の高校、大学を卒業後、消化器外科医師と病院にて勤務された後、臨床研究の道に進み日本の大学院を終了。海外大学への挑戦をしてMITに合格。現在は、大腸がんに関わる研究をされている傍ら、MIT日本人研究会の代表を務めていらっしゃいます。

広大で、世界最先端と言っても過言ではない研究設備の整ったキャンパスを案内いただきながら、最後に、生徒から、MITに行くにあたり、どのくらいの英語力が必要なのか、失敗、思うようにならなかった時にはどの様に対処しているのか?など、生徒の質問に一つ、一つ丁寧に答えて頂きました。

今回のMITキャンパスツアーを終えて、生徒のMITに来る前のイメージとはかなり変わった様でした。お忙しい中2時間近くツアーをして頂き、生徒達も疲れを見せながらも、一生懸命にメモを取っていました。最後に有志の生徒からお礼の言葉を伝えて頂きツアーは終了致しました。

ボストンでの生活が慣れてきた一方で時差ボケや毎日の活動による疲れ、アメリカの食事に胃も疲れてきた様子が伺えます。生徒達は頑張っていますが、しっかりと休む時には休む、しっかりと睡眠を取る事や、自分の意志でホストファミリーに自分達の気持ちをきちんと伝える事を生徒の皆さんにお話させて頂きました。明日からはもう数日しか残っていませんが、出来る限り、最後まで悔いが残らずに頑張れる様に陰ながらサポートして参ります。

以上4日目の報告となります。

